症例一覧（５症例）

項目	内容
(症例番号：　　　)	年齢：□□　　　　性別：　男
	入院期間：　20○○年　×月　×日　～20○○年　△月　△日
(A項目番号：１) 1. 循環器疾患 2. 呼吸器疾患 3. 中枢神経疾患 4. 消化器疾患 5. 代謝・内分泌疾患 6. 腎・泌尿器疾患 7. 感染症 8. 外傷・熱傷 9. 急性中毒 10. 災害医療 (B項目番号：７) 1. 気道・呼吸管理 2. 循環・体液管理 3. 感染症治療 4. 腎代替療法 5. 予防的薬物療法 6. 栄養・血糖管理 7. 鎮痛・鎮静・せん妄管理 8. 薬物血中濃度管理 9. 災害医療支援	薬学的関与の要約： 胸痛、循環不全にて搬送。心電図では、V2-6 で ST 上昇、心エコー上前壁、側壁で壁運動の低下を認めた。急性心筋梗塞が疑われ気管挿管を行い緊急冠動脈カテーテル検査施行となった。責任病変に対しステントを留置し、人工呼吸器、IABP 管理下で CCU 入室となった。その日の夜間に不穏状態となり、人工呼吸器や IABP 等のルート抜去が懸念されたため、主治医はハロペリドールの投与を決定した。しかし、本症例は 12 誘導心電図で QT 延長が認められており、QT 延長作用のあるハロペリドールの投与は避けることが望ましいと考え、ミダゾラムの持続投与を推奨した。投与開始により速やかに不穏はおさまり、心電図異常は認められず、ルート抜去等の危険を回避することができた。
(症例番号：　　　)	年齢：□□　　　　性別：　男
	入院期間：　20○○年　×月　×日　～20○○年　△月　△日
(A項目番号：８) 1. 循環器疾患 2. 呼吸器疾患 3. 中枢神経疾患 4. 消化器疾患 5. 代謝・内分泌疾患 6. 腎・泌尿器疾患 7. 感染症 8. 外傷・熱傷 9. 急性中毒 10. 災害医療 (B項目番号：５) 1. 気道･呼吸管理 2. 循環･体液管理 3. 感染症治療 4. 腎代替療法 5. 予防的薬物療法 6. 栄養･血糖管理 7. 鎮痛･鎮静･せん妄管理 8. 薬物血中濃度管理 9. 災害医療支援	薬学的関与の要約： 仕事で化学薬品（フッ化水素７．０％、フッ化水素酸０．６％）を使用中に手袋に穴が開き、手指が薬液に暴露され化学熱傷として搬送される。 救命救急センター担当薬剤師より相談を受け、フッ化水素による化学熱傷の治療について指導を行った。 医師へグルコン酸カルシウムの皮下注、グルコン酸カルシウムゼリー塗布の提案を指示し、グルコン酸カルシウムゼリーの作成について指導を実施した。 作成したゼリーについて、医師や患者への説明事項を担当薬剤師と確認した。皮下注、ゼリー塗布後、経過を観察し、副作用等の問題なく、化学熱傷部位も発赤が軽減し退院となる。